

自治体名	北海道鷹栖町
日時	2013年3月25日(月) 18:30~20:30
場所	サンホールはびねす 研修室
出席者	鷹栖町教育委員会、生涯元気課、保育園父母会、小学校PTA、小学校教諭、スポーツ推進委員等10名
テーマ	子どものスポーツ環境
議事要旨	<p>鷹栖町では、昭和40年代から町の政策として高齢者の健康づくり、運動習慣の定着に関する施策を積極的に展開した結果、現在では自主的に運動・スポーツを行う高齢者(70歳以上)が非常に多い。一方、子どもから保護者世代(30~40歳代)における健康づくりや運動・スポーツの実施率向上が課題となっており、今回の意見交換では「子どものスポーツ環境」をテーマに設定。併せて、保護者世代である「30~40歳代」の運動・スポーツの実施率向上についても意見を交わした。</p> <p>出席者からの主な意見は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもや保護者のニーズの多様化が起因し、スポーツ少年団加入者の減少など子どもの運動・スポーツ離れが増加している。 ・共働き世帯が多く、保護者の時間的余裕が少ない家庭では、送迎や週末の保護者参加が困難で、子どもをスポーツ少年団活動等へ参加させられない状況がある。保護者の都合に影響を受けず、平等に運動・スポーツ参加できる環境の整備が必要である。(施設への送迎巡回バスの運行等) ・地域単位の運動会や「たかすジョギングフェスティバル」等のイベントでは、親子参加が増加している現状を鑑みると、他の既存事業でも親子参加の企画を設定し、中間層である保護者の参加を積極的に促すことでスポーツ実施のきっかけを図る必要がある。 ・子どもから一般、高齢者まで、普段から運動やスポーツを実施しない町民への対応施策を、行政主体で検討する必要がある。 ・地域で活躍するスポーツ指導者の高齢化が著しく、後継者の育成が今後の課題である。(運動やスポーツの楽しさを伝えられる指導者の育成)
まとめ	<p>子どもの運動・スポーツ環境は、スポーツ少年団や地域の活動が盛んに実施されている一方で、家庭の都合により参加できない子どもが多数存在することが把握された。保護者層でもある30~40代については、時間的余裕が無い状況でも気軽に、自主的に参加できる環境整備が必要との確認がなされた。</p> <p>今後の問題解決や課題について、以下のとおりまとめた。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 家庭の都合で運動・スポーツに参加できない子どもをはじめ、非実施層が気軽に参加できる仕組みづくり(送迎や継続的事業の設置、幅広い層に対応する指導者の育成等)を行政主体で検討する。 2) 既存事業(イベント)は、親子参加を積極的に促す仕組みを企画・検討し、中間層を含む幅広い世代の参加を促すよう改善する。